



市制 70 周年記念・合併 15 周年記念企画

二次元 VS 日本刀展

日程：2020年12月4日(金)～2021年2月1日(月)
会場：関鍛冶伝承館 2階 第I・II展示室

メディア向け内覧会開催 12月3日(木) 10:30～(受付 10:00～ 関鍛冶伝承館)

関市が市制 70 周年・合併 15 周年を迎えることを記念し、関鍛冶伝承館(関市南春日町)において、12月4日(金)から2月1日(月)までの期間で、漫画やアニメ等の人気クリエイター達が考えた日本刀を展示する「二次元 VS 日本刀展」を開催します。

本企画展の開催目的は、日本刀文化及び関鍛冶の魅力を多くの若者へ発信することです。そのため、展示作品の中には、関伝日本刀鍛錬技術保存会の尾川兼國刀匠が制作した「るろうに剣心-明治剣客浪漫譚-の逆刃刀」及び二十五・二十六代藤原兼房刀匠が人気イラストレーターのデザインを再現した日本刀、関市刀剣研磨外装技術保存会の鞘師森隆浩氏が制作に携わった「バケモノの子 熊徹の刀・拵」があります。本企画展では、関鍛冶が制作に携わった日本刀も含め、計 14 振りの日本刀を展示します。また、人気クリエイター達が描き起こした「未来の日本刀をテーマにしたイラスト」も同時展示します。



©和月伸宏 / 集英社



©夢路キリコ/2d_vs_katana



©2015 THE BOY AND THE BEAST FILM PARTNERS



『開催概要』 二次元 VS 日本刀展

日程：2020年12月4日(金)～2021年2月1日(月)
開催時間：9:00～16:30
休館日：火曜日・祝日の翌日(いずれも休日を除く)
場所：関鍛冶伝承館 2階 第I・II展示室(岐阜県関市南春日町 9-1)
特別入館料：大人 800 円、高校生 500 円、小中学生 300 円 ※入館料も含む
クリエイター：るろうに剣心-明治剣客浪漫譚-(和月伸宏)、夢路キリコ、バケモノの子(細田守)、天野喜孝
壬生義士伝(ながやす巧)、子連れ狼(原作小池一夫、小島剛夕、高橋留美子、池上遼一)
開田裕治、修羅雪姫(原作小池一夫、池上遼一、たくま朋正、越智博之)、神野オキナ・隅田かずあさ
ヒライユキオ、環望、シネグドキ、かまたきみこ、EDO of the DEAD (敬称略順不同)
主催：関市
企画協力：関伝日本刀鍛錬技術保存会、株式会社テレビせとうちクリエイト、一般社団法人全日本刀匠会事業部
株式会社集英社、博物館明治村、スタジオ地図、株式会社ホーム社、株式会社現刀美